

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年追補版ver.2 (BPIBEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCB_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)南千里PJ	階数	地上15F
建設地	大阪府吹田市津雲台一丁目20-4	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	700 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	飲食店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2014年8月1日
敷地面積	3,732 m ²	作成者	(株)RIA 川田啓一
建築面積	1,702 m ²	確認日	2014年8月5日
延床面積	14,941 m ²	確認者	(株)RIA 川田啓一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% ☆☆☆☆☆

②建築物の取組み 69% ☆☆☆☆☆

③上記+②以外の 69% ☆☆☆☆☆

④上記+ 69% ☆☆☆☆☆

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 3.0

Q1 室内環境: 3.2

Q3 室外環境(敷地内): 3.4

LR1 エネルギー: 3.1

LR2 資源・マテリアル: 2.5

LR3 敷地外環境: 3.4

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	足元の立柱に壁面緑化を施したり、植栽を極力植えることで「緑」を中心とした計画とし、自然と親しむ環境と地球環境負荷の低減を同時に取組んだ。	その他 特になし。
Q1 室内環境	住戸内はペアガラスを採用して、熱負荷低減に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の住宅地に配慮した計画とした。周辺の自然と調和した緑化空間を形成した。
LR1 エネルギー	一部、高効率な機器を採用し、エネルギーの削減を図った。	LR3 敷地外環境 特になし。
Q2 サービス性能	ゆとりある階高・天井高とし、フレキシビリティ性の向上に配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	特になし。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)南千里PJ		
	建設地	大阪府吹田市津雲台一丁目20-4その他		
	用途/区分	集合住宅 飲食店		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			4
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			対象外

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.2	4
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊 3.0	3
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.3	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	—	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	2.2	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項	
特に配慮した事項				